

# KIMIOTO



君の音に耳を傾け、共に考える

長岡市障害者基幹相談支援センター通信 Vol.5 (2023.5)

春になると、ソメイヨシノの開花は日本の至る所で我々の目を楽しませてくれます。この季節、私も大好きなのですが、最近あれはクローン増殖で、幕末期から少しずつその個体を増やしてきたのだと知り、何やら少しだけ恐怖を感じてしまいました。((( ; ° Δ° )))がクガクブル

## 福祉事業所商品マルシェ（作業所商品販売会）の取り組み

長岡市では新型コロナウイルスの影響により売り上げの落ち込んだ作業所支援の一環として、アオーレ等を利用した販売会をこれまでに5回開催しました。



総来場者約 1,500 人 延べ 66 事業所参加 総売上 2,954,307 円

無類のパン好き



マルシェの総売上 2,954,307 円は B 型作業所で働く障害者の月額工賃約 215 人分にもなったんだね

※長岡市 B 型施設月額平均工賃 13,723 円/人(令和3年度)

新型コロナによる売り上げへの影響も少しずつ落ち着いていることから、市主催のマルシェは令和4年度で一旦終了しますが、今後とも障害をお持ちの方がやりがいを持って作業に取り組むことができるよう、様々な支援を継続して検討していきたいと思ひます。

## 障害者基幹相談支援センターに地域生活支援コーディネーターを配置

令和5年度より、障害者の在宅生活、地域移行・地域定着等を支える各機関を繋ぎ、共に支援することを目的として「地域生活支援コーディネーター」を配置しました。まずは、障害をお持ちの方が地域でより良く暮らせるよう、皆様と一緒に考えてまいりたいと思ひます。

写真は平野コーディネーターと  
自作のキミヲくんグッズ



TUNAGARU は社会福祉法人長岡福祉協会「相談支援センターふかさわ」さんにおじゃましました。



事業所から市街地が一望できるよ

きっと夜景も綺麗ね

長岡市西津町字原4688 ☎: toujuen-fukasawa@nagaokafk.com

TEL: 0258-47-2208 FAX: 0258-47-2206 職員体制: 相談支援専門員7名

Q. 相談支援センターふかさわの特徴を教えてください

A. 職員全員が入所や通所などの障害サービス、あるいは高齢者施設等で相談支援以外の経験を積んでいることから、困難なケースでも、あらゆる角度から知恵を絞って解決できることが強みです。

Q. 支援者として心がけていることは何?

A. 当たり前かもしれませんが、利用者さんのお話をよく聴くことについては特に意識しています。緊急性のあるケースを除き、どんなに時間をかけても、時にまわり道をしたとしても、ご本人の希望、気持ちをよく聴き取って、「本人目線」をととても大切にしています。

Q. 職場の雰囲気はどう?

A. 和気あいあいと、風通しの良い職場です。支援で困った時でも、誰かが声を上げれば、それに応えてくれる職員が必ずいて、経験の浅い職員にとっても超心強いです。また、ここの職員は毎日「支援を楽しんでいる」と思います。この仕事が好きなんですね。

Q. 長岡市への要望は?

A. 市の窓口から紹介されてこちらに来る相談者の中には、よく話を伺うと全く違うニーズを持っておられる方がいます。各窓口が丁寧に聞き取りをし、必要があれば支援者同士で事前に概要のやり取り等ができれば、相談する方の手間をもっと少なくできるのではないかと思います。その上で我々の事業所を紹介していただければ大変ありがたいです。

Q. 日々の業務で感じる課題は?

A. サービス利用にあたっての交通手段は常に課題になります。特に支所地域の方が通所系のサービスを利用しようとすると、「通えるか」あるいは「通い続けることができるか」という問題を常に意識しなければならず、そのせいでサービスの選択の幅が狭くなる場合があります。

Q. リフレッシュ方法はある?

A. 休みの日は何も考えず、ゲームにひたすら没頭します。自分のためだけに時間をつぶしている感覚がとってもスッキリします。(M相談員)

BBQ や焚火など、木を組んで火を起すのが好きなのですが、立派な火に家人から火事だと勘違いされ、大騒ぎされたこともあります。(S相談員)

ソロバン8級

ご、5段!?



I 相談員の趣味は剣道  
何と5段の腕前!?

～本誌をご活用ください～

研修会をPRしたい、事業所を紹介したいなど、ご要望は障害者基幹相談支援センターまで

長岡市表町2丁目2番地21 (社会福祉センター トモシア2F)

0258-39-2362 0258-86-0220 (FAX) n-kanan-soudan@city.nagaoka.lg.jp